



# Welcome to Killruddery

楽しい休日を自然とふれあいながら過ごす最良の空間、それがキルラドリーです。キルラドリーは、1618年にブラバゾン家(ミース伯爵)から始まり、現在に受け継がれています。ウィックロー州に隣接する首都・ダブリンの郊外に位置し、交通の便に優れています。ここではキルラドリーの持つ、知られざる名所や宝物の数々に会うことができます。また、たくさんの自然とふれあい、散策するのにも最適の空間です。自然に満ちたガーデンは、アイルランドで最も名高い庭園のひとつであり、美しい季節の花々や木々たち、水仕掛け、そしてユニークな庭の中の“お部屋”などに満たされた敷地内をゆったりと散策しながら、心安らぐひとときをお過ごしいただけます。楽しいお茶会や、アイルランド随一の歴史を誇るハウスへのガイドツアーは、ご予約の上ご利用いただくことができます。

詳しくはウェブサイト [www.killruddery.com](http://www.killruddery.com) をご覧いただくか、Facebookページ [www.facebook.com/killruddery](https://www.facebook.com/killruddery) をフォローしてください(“いいね!”を押していただくと、新しいイベント情報が随時配信されます)。年間の恒例イベントは、鷹狩りから養蜂、夜明けの鳥のさえずりによる野外コンサート、ピクニックや宝探しなどのキッズイベント、ウォールド・ガーデン・プロジェクト(ベジタブルガーデン)など、様々なものを開催しております。アウトドア好きのお母さん、お父さん、子供たち、みんなにとって楽しいイベントばかりで、どれにしようか迷ってしまうかもしれませんね。

**Killruddery House** キルラドリーハウスは、アイルランドにおいて最も出来栄良くエリザベス朝様式に復刻された領主邸の一つです。1820年代、第10代ミース伯爵はキルラドリーハウスを改築するため、その当時流行の建築家を雇いました。リチャード・マリソンと彼の息子・ウィリアムです。1950年代、ハウスの大部分が削減され、現在の姿をとるようになります。しかし、マリソン建築の大部分が今でも残されています。

**The Estate** 敷地内は、多くの映画やTVドラマにとって人気のロケ地となっています。よく知られているものは、マイ・レフト・フット(映画・1989年)、遙かなる大地へ(映画・1992年)、アンジェラの灰(映画・1999年)、チューダーズ<ヘンリー8世 背徳の王冠>(TVドラマ・2007年)、キャメロット(TVドラマ・2011年)など。

**The Gardens** キルラドリーガーデンは、17世紀特有のスタイルがそのまま現在に残されているものとしてアイルランドで最も歴史があり、18世紀・19世紀に増築・補強が施されています。ガーデンは多くの客人をもてなすためにデザインされました。それゆえ、その大きさは大庭園といっても遜色なく、主として第4代および第6代伯爵が築いたものとされています。フランスの造園家・ボネットは、ル・ノートル(ヴェルサイユ宮殿の庭園などを設計したフランス式庭園の完成者)の弟子であり、1682年にミース伯爵によって雇われてたことで知られています。

**The Angles** エンジェルズは、ガーデンの中央部分にあります。散歩する流れによって配置構成されていて、シデの木、ライム、バナノキの生垣が、左右対称に2つに並ぶようにつくられています。そのデザインは、**The Long Ponds**、(2つの長池)から見えるように、“patte d'oie”(ガチョウの足)のようになっています。エンジェルズを通り抜けると、17世紀から続くセイウヒイラギの並木道に出ます。そこはボウリング・グリーン(芝生のボウリング場)へと続く通り道となっています。このエリアはただいま修復中です。The Long Ponds は長さ187メートルに及ぶ2つの大きな池で、“miroirs d'eau”(水鏡)として知られています。

The Long Pondsを隔ててエンジェルズの反対側には、**The Wilderness** (ザ・ワイルダネス)と呼ばれる原生林地帯があります。ガーデンの外へと導くゲートの近くにはヴィーナス像が立っています。ここからガーデンの方を振り返って、**Beech Hedge Pond** (バナノキの生垣に囲まれた池)の中心を見ると、その先の向こう側を見通すことができます。御影石で縁取られたその池は直径が20メートルで、入口には鑄鉄製のヴィクトリア朝の彫像が4つ並び、春夏秋冬を表現しています。Beech Hedge Pond の向こう側には、19世紀様式で広げられた庭園があります。マイヅルソウの低い生垣が、バラとラベンダー畑を囲み、その中央には噴水があります。

**The Sylvan Theatre** 森の中の劇場は、古典様式の野外シアターで、高い生垣の仕切りと階段状の傾斜面でできています。18世紀様式の野外シアターとしては、アイルランドで唯一のものです。

**The Orangery** オレンジリー(ガラス屋根付きの温室)は、特別なイベントなどの会場としてご利用いただくことが可能で、晚餐会付きの結婚式場としてとても人気があります。オレンジリーはウィリアム・バーン(スコットランド・建築家)によって1852年に建築され、クリスタルパレス(イギリス)の様式を取り入れています。特製のガラスドームは、リチャード・ターナーによって造られました。ターナーは、国立植物園(ダブリン)やキュー王立植物園(ロンドン)の曲線的なガラス温室をデザインしたことで知られています。オレンジリーでは、1830年~1850年の間にイタリアで集められた大理石の彫像コレクションが保管されています。古典様式の彫刻としては、鷹に変身した神・ゼウスに水を注ぐガニメデや、死を迎えようとしている彼の愛する鹿を抱きかかえるキュパリッソス、プシュケと同体となったキューピッドと海から生まれたヴィーナスなどが含まれています。偉人達をモデルにした半身像の彫刻には、ホメロス、ソクラテス、ナポレオン、ウィリアム・ピット英国首相、ウェリントン侯爵らが含まれています。

**Killruddery Tearooms** キルラドリー・ティールームは、装飾がきれいな八角形の建物の中で、そこはかつて乳製品の製造所兼貯蔵室でした。そのデザインは、Hollybrooke House (Bray) の近くに住んでいたジョージ・ハドソン卿によるものです。ティールームでは、作りたてのクリームティー(スコーンと紅茶のセット)とケーキをご提供しています。キッチンガーデンスープは、ガーデン内にあるウォールド・ガーデンで育てられた新鮮野菜を使って作られています。キルラドリー・バーベキューも随時開催しております。(雨天中止)。ティールームはガーデンの敷地内にあり、ガーデンのみのチケットでご利用いただけます。ティールーム営業時間:午前9時30分~午後5時。4月・10月は週末のみ、5月1日~9月30日は全日営業。

**Events at Killruddery** キルラドリーでは常時イベントを開催しております。映画祭や野外コンサート、シアター、ファミリーアート、エコ関連イベントなど、その他にも楽しいイベントをたくさんご用意しています。

